

2020年1月6日

岡本 敬彦 社長 年頭あいさつ（要旨）

昨年、当社工場が立地する千葉県は、2度にわたる台風の通過に見舞われ、社員のご家族の方、あるいはご親戚・ご関係者の中にはいまだ復旧作業もままならない方もいらっしゃるのではないかと思います。心からお見舞いを申し上げますとともに、本年が災害のない穏やかな一年になることを切に祈っております。

現在、厳しい事業環境であっても、それに左右されない強い事業基盤を持った広栄化学を構築すべく、中期経営計画を実行中です。

1. 積極的な設備投資

いくつかは予定通りに意思決定し現在実行の段階にあります。設備投資が完了した段階では広栄化学の競争力・収益性は格段に上がると信じております。厳しい競争の中で、これをスピード感持って迅速に達成する必要があります。

2. 働きやすい職場環境、働き甲斐のある職場環境を目指して

積極的設備投資が完了しますと、工場は計装化されスマート工場化されます。それにより工場の管理レベルは向上しますが、それに対応していくためには皆様方の能力向上、そのための学習、自己研鑽が不可欠です。また、働き甲斐のある職場という意味では、品質、機能、コスト、納期の点でお客様にとって魅力的なものを提供するという観点は大事だと思います。

3. 伝承と挑戦

受け継ぐべきものはしっかり受け継いだ上で各人それぞれ積極的に新しいことに挑戦して行って下さい。やってみないと気付かないことも沢山ありますし、思ったようにいかないことも沢山あります。まずは前向きにやってみて、気付いたことをベースに修正を加え、さらに挑戦を続けて行って下さい。

最後に、安全とコンプライアンスの重要性を強調させていただきます。私たちが事業を継続していく上で最も大切なことは「安全をすべてに優先させる」「コンプライアンスを実践する」ことです。安全には日頃から意識して業務に当たられていることと思いますが、安全活動に終わりはなく常に進化し続けなければなりません。会社として引き続き不安全箇所の撲滅に取り組んでいきますし、安全文化の大前提である整理整頓も進め、不要機材の撤去・置き場の整備も継続してまいります。

以 上